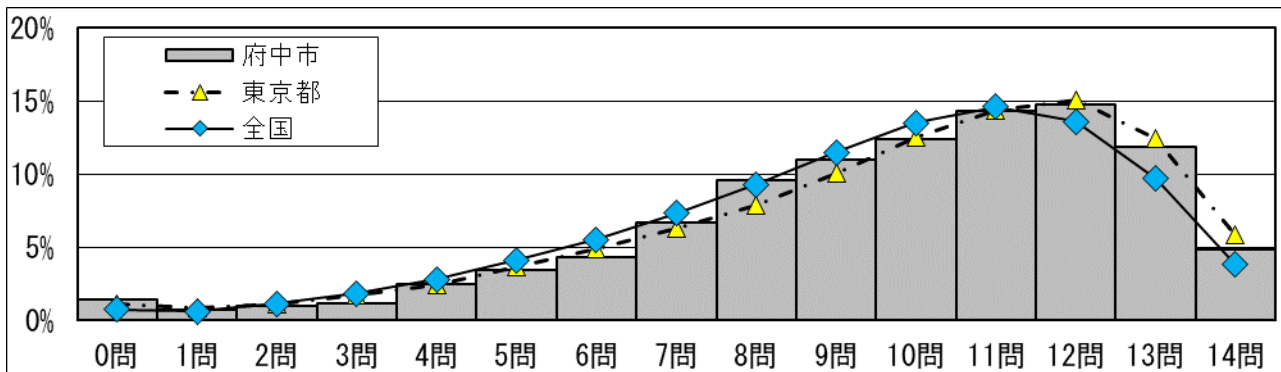


小学校 国語	平均 正答率 (%)	中央値 14問中	学習指導要領の領域別平均正答率(%)			
			知・技	話・聞	書く	読む
府中市	69	10	70.9	72.7	29.1	73.2
東京都	69	10	71.6	73.5	28.9	73.2
全国	67.2	10	68.9	72.6	26.7	71.2

R4 小学校 国語	平均 正答率
府中市	69
東京都	69
全国	65.6



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容				正答率(%)			無解答率(%)		
			知・技	話・聞	書く	読む	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
1 一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	○				67.4	68.2	64.7	4.3	2.8	1.8
1 三 (1) ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	○				57.1	56.7	52.8	4.9	5.2	4.8
2 四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				○	57.6	56.8	56.2	8.9	10.8	8.5
3 三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	○				58.3	60.2	57.6	16.5	12.4	9.5

【教科に関する調査から分かったこと】()は問題番号

○文の中で既習の漢字を正しく使うこと(問1三(1))、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること(問2四)がよくできている。

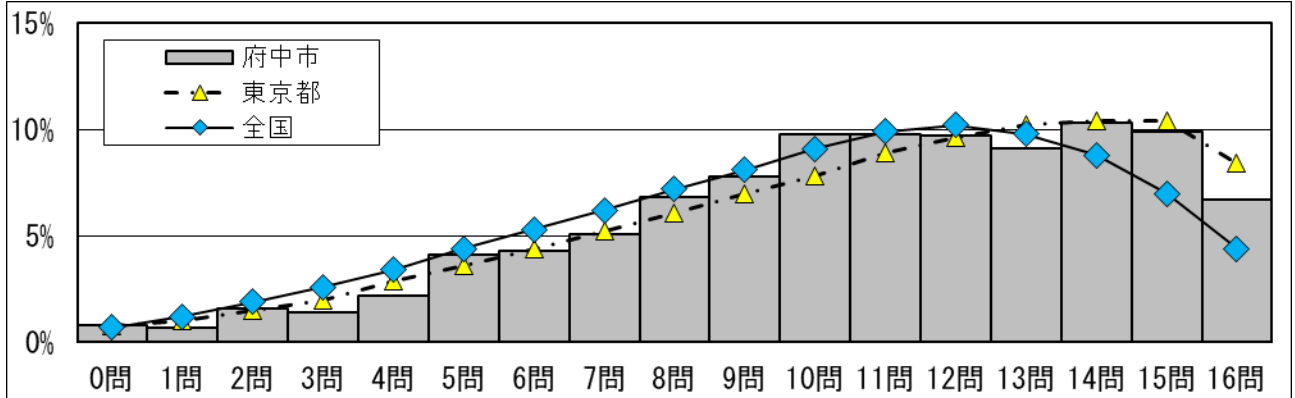
△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること(問1一)、敬語の理解(3三)に課題が見られる。

(質問紙調査から) 読書は好きですか。		市・児童数の割合	市・国語平均正答率
	当てはまる	44.4	73.6
	どちらかといえば当てはまる	29.1	67.1
	どちらかといえば当てはまらない	16.8	66.0
	当てはまらない	9.6	57.1

【質問紙調査から分かったこと】

「読書が好き」について、全体の73.5%の児童が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている児童ほど平均正答率が高い傾向にある。このことは、国語だけでなく算数においても、同様の傾向が見られる。朝読書や読み聞かせなど、日常的に読書に親しむような機会を多く作ることが、学力の向上に結びついていることが分かる。

小学校	平均 正答率 (%)	中央値 16問中	学習指導要領の領域別平均正答率 (%)					R4 小学校 算数	平均 正答率
			数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用		
府中市	66	11	71.0	51.8		76.1	69.0	府中市	67
東京都	67	11	71.0	54.8		75.8	67.3	東京都	67
全国	62.5	11	67.3	48.2		70.9	65.5	全国	63.2



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					正答率(%)			無解答率(%)		
			数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
1 (4)	全部の椅子の数を求めるために、 50×40 を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	○					83.3	82.5	80.8	0.7	1.3	1.2
2 (1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		○				58.2	65.0	59.8	0.9	0.9	0.7
2 (4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる		○				26.0	29.5	20.8	3.0	4.6	4.0
4 (2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる	○				○	80.9	78.6	75.7	3.4	5.0	4.3

【教科に関する調査から分かったこと】 ()は問題番号

○ 一の位が0の二つの2位数についての情報の計算(問1(4))や、「以上」の意味を理解し示された表から必要な数を読み取ることがよくできている。(問4(2))

△台形の意味や性質への理解(問2(1))や、図形を構成する要素などに着目し、基本的な図形の面積の求め方から面積の大小を判断して、その判断の理由を表現すること(問2(4))に課題が見られる。

(質問紙調査から)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

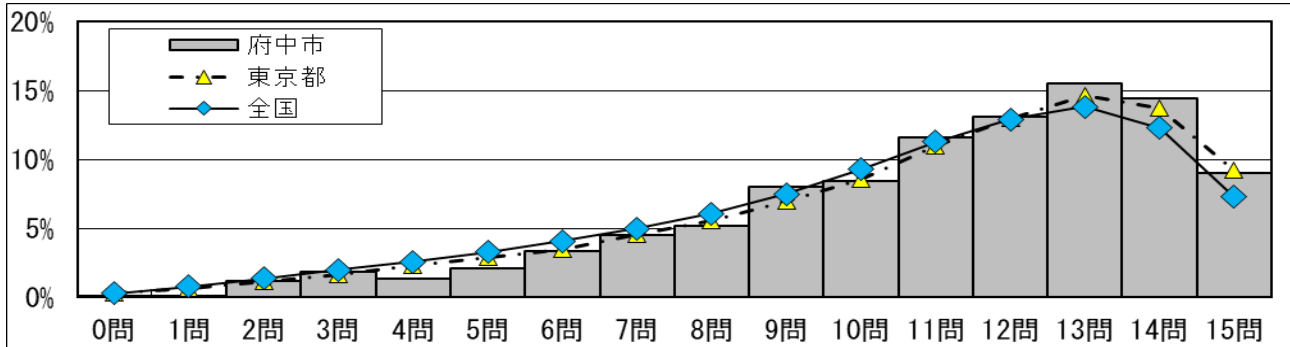
	市・児童数の割合	市・算数平均正答率
当てはまる	30.7	73.4
どちらかといえば当てはまる	44.5	66.6
どちらかといえば当てはまらない	19.7	59.3
当てはまらない	4.7	53.1

【質問紙調査から分かったこと】

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について、全体の75.2%の児童が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている児童ほど平均正答率が高い傾向がある。児童が学習を振り返って自身の理解の状況を把握し、学習改善につなげることができる資質・能力を育むように指導していくことが重要であることが分かる。

中学校 国語	平均 正答率 (%)	中央値 15問中	学習指導要領の領域別平均正答率 (%)			
			知・技	話・聞	書く	読む
府中市	73	12	70.5	85.6	69.5	70.4
東京都	72	12	70.1	84.4	66.8	67.2
全国	69.8	11	69.4	82.2	63.2	63.7

R4 中学校 国語	平均 正答率
府中市	72
東京都	70
全国	69.0



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率 (%)			無解答率 (%)		
			知・技	話・聞	書く	読む	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
1 二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	○				64.6	66.0	65.1	0.1	0.2	0.2
2 四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる	○			○	74.1	69.7	67.5	1.9	3.5	3.9
3 四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる				○	77.7	74.7	72.1	7.8	9.5	10.2
4 一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す (いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる	○				69.6	74.4	82.5	3.4	4.1	3.6

【教科に関する調査から分かったこと】 ()は問題番号

○文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること (問2四) や、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと (問3四) が、よくできている。

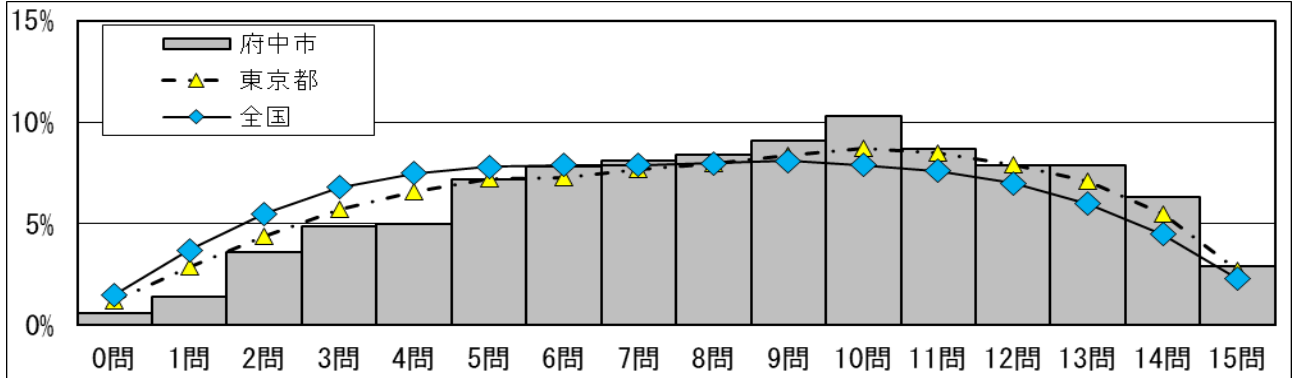
△意見と根拠など情報と情報との関係について理解していること (問1二) や歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと (問4一) に課題が見られる。

(質問紙調査から) 読書は好きですか		市・生徒数の割合	市・国語 平均正答率
	当てはまる		36.1
どちらかといえば当てはまる		30.3	73.9
どちらかといえば当てはまらない		19.9	66.9
当てはまらない		12.2	61.5

【質問紙調査から分かったこと】

「読書が好き」について、66.4%の生徒が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。これは、数学や英語においても、同様の傾向が見られる。朝読書や図書館の貸し出しの促進など、日常的に読書に親しむような機会を多く作ることが、学力の向上に資すると考えられる。

中学校 数学	平均 正答率 (%)	中央値	学習指導要領の領域別平均正答率 (%)				R4 中学校 数学	平均 正答率
		15問中	数と式	図形	関数	資料の活用		
府中市	57	9	68.7	41.9	56.6	54.3	府中市	58
東京都	54	8	66.0	39.2	54.3	50.4	東京都	54
全国	51	8	63.0	33.2	51.2	48.5	全国	51.4



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率 (%)			無解答率 (%)		
			数と式	図形	関数	データの活用	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	○				88.8	85.3	80.5	1.5	2.9	4.0
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				○	46.2	46.5	46.1	7.7	10.5	11.0
6 (2)	はじめの数にける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	○				66.8	63.2	58.8	5.3	8.7	10.6
7 (1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				○	78.3	68.2	65.7	2.1	5.1	5.6

【教科に関する調査から分かったこと】()は問題番号

○ 数と整式の情報の計算 (問2) や、式の変形やその意味を読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明すること (問6 (2))、四分位範囲の意味の理解 (問7 (1)) がよくできている。

△累積度数の意味の理解 (問5) に課題が見られた。

(質問紙調査から) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

	市・生徒数の割合	市・数学平均正答率
当てはまる	21.3	66.2
どちらかといえば当てはまる	48.9	59.2
どちらかといえば当てはまらない	23.7	49.8
当てはまらない	5.6	42.4

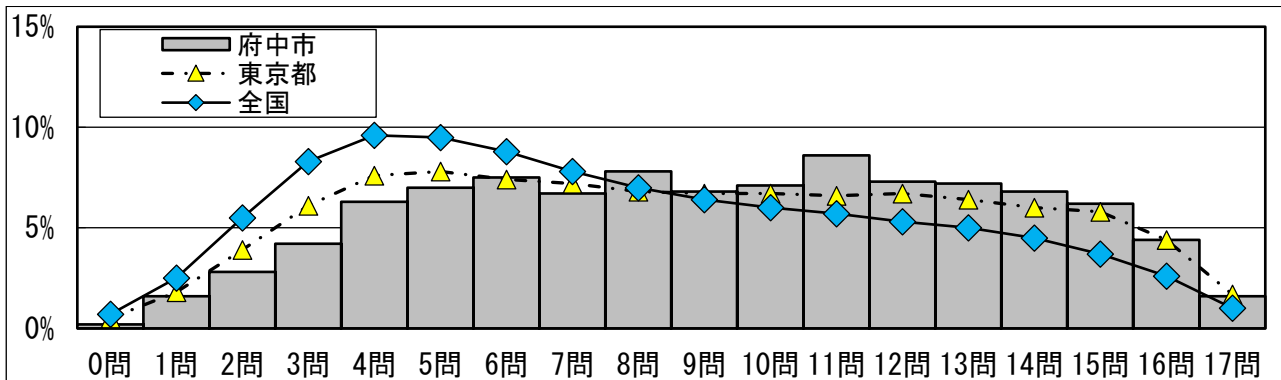
【質問紙調査から分かったこと】

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について、全体の70.2%の生徒が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている生徒ほど平均正答率が高い傾向がある。生徒が学習を振り返って自身の理解の状況を把握し、学習改善につなげることができる資質・能力を育むように指導していくことが重要であることが分かる。

中学校	平均 正答率 (%)	中央値 17問中	学習指導要領の領域別平均正答率 (%)				
			聞く	読む	書く	話す [やり取り]	話す [発表]
府中市	55	9	65.9	61.4	32.6	20.2	6.9
東京都	52	9	64.7	57.2	29.6		
全国	45.6	7	58.4	51.2	23.4	14.5	4.2

令和4年度は
実施なし

※平均正答率・中央値・問体系識別平均正答率に「話すこと」の結果は含まない。



【主な設問別結果】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					正答率 (%)			無解答率 (%)		
			聞く	読む	話す [やり取り]	話す [発表]	書く	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	○					69.3	70.4	61.1	0.2	0.2	0.2
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる		○				79.4	70.2	64.5	0.3	0.3	0.3
9 (1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる					○	54.6	48.5	40.4	3.7	5.7	6.6
話すこと 2	環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える	社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる					○	6.9		4.2	10.0		18.8

【教科に関する調査から分かったこと】 ()は問題番号

○ 「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むこと (問5 (2))、未来表現の肯定文を正確に書くことができること (問9 (1) ①) がよくできている。

△ 目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができること (問2)、聞いたことについて自分の考えとその理由を話すことができること (話すこと問2) に課題が見られる。

(質問紙調査から) これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか	市・生徒数の割合	市・英語平均正答率	
	当てはまる	13.9	65.7
	どちらかといえば当てはまる	20.4	59.1
	どちらかといえば当てはまらない	26.0	53.6
	当てはまらない	38.7	49.2

【質問紙調査から分かったこと】

「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか」について、全体の34.3%の生徒が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をした生徒ほど、平均正答率が高くなる傾向が見られる。一方で、64.7%の生徒は、否定的な回答をしており、学校外で生徒が英語を使う機会を創出することで学力向上につながる事が分かる。